

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

2

1 施策の概要

1-1 施策の名称	生活環境の向上			基本施策コード	1 1 2
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	環境課	評価票作成者 環境課長 土屋 正典
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			
	項	環境保全			
1-4 施策の目的	公害の無い良好な環境を形成し、美しい町をつくる。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	
	公害の少なさに対する満足度	78.0(%)	78.9	101.2	80.0(%)			生活環境施策全般の充実状況を表す指標

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	生活環境公害の発生を抑止を行う必要がある。	住工混在地区における良好な生活環境の確保が求められている。	個々の生活関連苦情につき、丁寧に対応した。
平成19年度	休日等の苦情に対しても迅速に対応できるように環境監視員を2人体制にした。	休日・祝日を問わず常時化し体制を望んでいる。	環境に伴う騒音・悪臭苦情に迅速に対応を行い、公害化する前に対応を行った。
平成20年度	調整区域内での公害の発生を抑える。	調整区域内への工場の進出に対し、地元住民との調整を事前に課る必要がある。	環境監視員を完全2人制にし、休日監視体制を整えた。
平成21年度	生活環境公害の発生を抑止を行う必要がある。	苦情に休日・祝日を問わず対応する体制を続ける。	個々の生活関連苦情につき、丁寧に対応した。
平成22年度	公害のない良好な生活環境を保全する。		
平成23年度	公害のない良好な生活環境を保全する。		
平成24年度	公害のない良好な生活環境を保全する。		
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

